

国産旅客機等に関する航空科学技術の研究開発

平成19年度概算要求額： 6,025百万円
(平成18年度予算額) : 3,289百万円
※運営費交付金中の推計額を含む

要素から統合へ 『国産旅客機・エンジン開発関係』

- 産学官連携の下、我が国で進められている航空機・エンジンの全機開発において、高性能化・差別化技術の研究開発を行い民間に技術移転することにより、国際競争力強化を図る。
- 大型・高性能試験研究設備の計画的な整備、既存設備の老朽化対策を行い、設備供用を行う。
- 継続的な国産航空機・エンジン開発へ向けた先行的な研究を実施し、航空機産業の技術基盤強化に貢献する。

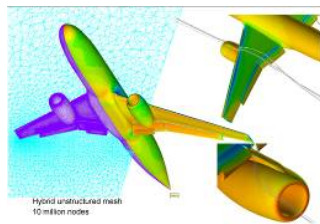
主な研究開発分野

- 数値シミュレーションによる低燃費機体等の設計・評価技術
- 低コストで軽量の複合材料の製造・検査技術
- 騒音や有害なエンジン排出ガスを大幅に低減する技術
- 風洞等大型試験設備による試験・評価技術 など



環境適応型高性能小型航空機 環境適応型小型航空機用エンジン

研究開発・
設備共用例



数値シミュレーション



低コスト複合材



低NOx燃料ノズル着火試験



遷音速風洞試験

安全・効率 『運航安全関係』

- 高精度かつ高密度な運航技術により安全性の向上や運航の効率化を実現する次世代運航システムを開発する。
- ヒューマンエラー防止等、航空事故の防止に係る研究開発を行う。

主な研究開発分野

- 次世代運航システム(DREAMS*)の航空電子機器技術、運航技術
- ヒューマンエラー防止、乱気流事故防止技術 など

*DREAMS: 分散型高効率安全運航システム



DREAMSによる運航(イメージ)